

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ハッピーテラス堺北花田教室		
○保護者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年9月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年9月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理担当職員(公認心理師、臨床心理士保有者)による、専門性の高い心理面談、支援	心理担当職員(公認心理師、臨床心理士保有者)の指導の下、専門的支援実施計画シートにしたがって、職場全体で個別支援を積極的に行っている。	心理担当職員(公認心理師、臨床心理士保有者)の指導の下、社内研修、勉強会などを充実させ、職員全体の専門性を向上していく。
2	他事業所・学校との連携	サービス担当者会議には積極的に参加、各関係機関と1回/月以上の電話連絡と短信の送付(了承を得ている方)など情報共有を行い、状況に応じて(ケース会議、受験対策、自力登所に向けて等)学校との連携を図っている。相談支援事業所へは個別支援計画書の共有や情報提供、相談など随時連携を取っている。また、サービス担当者会議の開催を促している。	他事業所・学校と連絡を密に取り、より綿密な連携を行っていく。
3	主体的な研修の実施	他事業所の職員を交えて、自事業所で毎月、合同研修を行っている。	専門家を招き、さらに専門性の高い研修を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童発達支援センターとの連携。	児童発達支援センターからの移行で自事業所を利用する例が少ない	部会・協議会などに積極的に参加して、他機関との連携を促進する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもとの活動。	保護者の同意を得ることが難しい。 地域の中で他のこどもと活動する機会が少ない。	保護者との関係性をより密にし、こどもたち同士の地域交流の必要性を訴えていく。 子ども食堂の開催を検討する。
3	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有。	現在対象児がいない	必要に応じて、随時対応していく。